

猪苗代湖と檜原湖におけるワカサギの成長の比較

福島県内水面水産試験場 調査部

1 部門名

水産業－内水面（増養殖）－内水面漁業

2 担当者名

舟木優斗

3 要旨

檜原湖では遊漁資源であるワカサギの資源量の解明が望まれており、猪苗代湖では漁業権対象魚種となっていないが、資源利用に係る生態解明が地元漁協から望まれている。そこで檜原湖と猪苗代湖の2漁場におけるワカサギの生態を比較し、資源量推定及び未利用資源活用に係る基礎情報の収集を行った。

- (1) 猪苗代湖北岸と檜原湖北岸で産卵のために接岸するワカサギ親魚を定置網により採捕した。
- (2) 採捕したワカサギは魚体測定と玉手(2002)を参考に鱗相による年齢査定を実施した⁽¹⁾。
- (3) von Bertalanffy の成長式の係数を推定し、2湖沼のワカサギの成長を比較した。
- (4) 檜原湖と猪苗代湖のワカサギの成長差が確認され、猪苗代湖産のワカサギの方が大きく成長することが示された(図1、表1)。
- (5) 接岸親魚の年齢組成は、猪苗代湖は1歳魚(0+)、檜原湖は2歳魚(1+)が主であった(図2)。

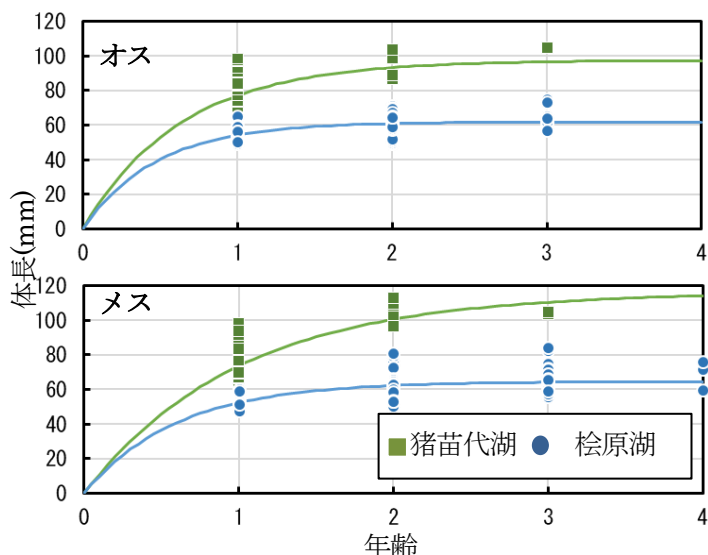


図1 檜原湖と猪苗代湖におけるワカサギの成長曲線(2020)

表1 檜原湖と猪苗代湖におけるワカサギ成長式の係数(2020)

	オス		メス	
	檜原湖	猪苗代湖	檜原湖	猪苗代湖
最大到達体長(mm) *	61.78	97.42	64.56	116.17
成長係数	2.11	1.57	1.67	1.00
n	172	124	238	91

*最大到達体長は成長式の係数であり、個体差については考慮していない

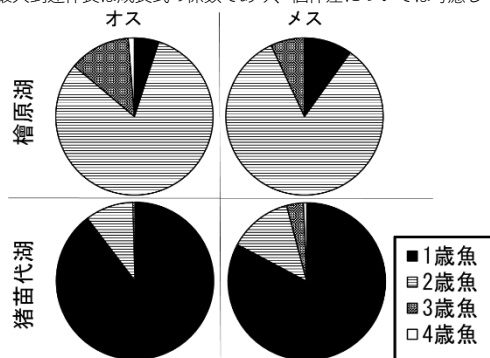


図2 檜原湖と猪苗代湖における接岸親魚の年齢組成(2020)

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3年度～令和7年度
- (2) 研究課題名 内水面重要水産資源の増殖手法の開発

5 主な参考文献・資料

- (1) 玉手剛, 朱鞠内湖におけるワカサギの成熟齢および体サイズ, 北海道大学 演習林研究報告, 59(2), 99-102.2002